

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営に反映した主な事例（平成24年度）

主な事例	具体的な内容
北海道大学の特長や北海道の地域性・特色を踏まえた取組の展開・支援	<p>① 学外委員から、北海道大学の特長（強み）や北海道の地域性・特色を踏まえた取組を積極的に展開すべきであるとの指摘があったことを受け、北海道大学で培った食や創薬・医療等に関する先端的な研究成果をもとに食、情報・機器、創薬・医療関連企業群や海外研究機関と連携して関連事業の創出を行い、併せて地方自治体、医療機関等とともに「健康創造拠点としての家庭」を可能とする地域システムを創出することを目指す「フード&メディカルイノベーション国際拠点」事業計画をとりまとめた。</p> <p>なお、同事業計画は、平成24年度文部科学省補正予算事業「国際科学イノベーション拠点整備事業」に採択されている。</p> <p>② 学外委員から、他大学にはない特色ある研究や取組を大学として積極的に支援すべきであるとの意見があったことを受け、そのような視点も踏まえて平成22年度に選定した「世界レベルで見て北大に優位性のある研究テーマ」について見直しを行い、改めて52件の研究テーマを選定した。なお、選定されたテーマについては、本学の研究戦略に沿ってより重点的かつ戦略的に取り組むべき研究分野または研究テーマとして、概算要求や文部科学省関連予算への後押しや研究スペースの貸し出し等の支援を行うこととしている。</p>
地域と連携した研究プロジェクトに係る連絡体制の整備	<p>学外委員から、「地域イノベーション戦略支援プログラム」の事業実施にあたっては、学外関係機関と連絡を密に図りプロジェクトの進捗状況等を定期的に確認するなどの取組が不可欠であるとの指摘があったことを受け、学外関係機関である北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）との事務連絡会を設置し、定期的に経費の執行状況等について報告・確認を行った。</p>
企業訪問活動の積極的展開	<p>学外委員から、産学連携本部自身が学外に積極的に向き、共同研究等に結びつける活動をしていくべきとの意見があったことを受け、平成22年度途中から道内外において企業訪問を実施している。</p> <p>平成24年度においては、道内76件、道外91件の企業訪問を実施し、道内企業の来訪数が2割増加するなどその効果が現れている。また、企業訪問が共同研究等に結びついたケースもあるなど、道内企業との技術移転収入増加にも繋がっている。</p>